

# 鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会(099-222-7770)

## 平成28年度基本方針

会長 北 哲郎



- 1 嘉納師範の理想とする「人間教育としての柔道」の推進
- 2 「武の国薩摩」復活を目指した競技力向上  
本年度も昨年同様「教育柔道」と「競技力向上」を最重点課題として「2020年鹿児島国体」の成功を期すべく、競技力向上はもちろんのこと、青少年の健全育成・指導者の資質向上など、柔道の普及振興を積極的に図り、それにより県民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的として諸事業を幅広く展開していく。
- 3 施策  
昨年に引き続き、組織体制の充実化と各部の任務分担の明確化を図る。

## 「評議員会」報告

平成28年度の公益財団法人鹿児島県柔道会評議員会が、5月14日(土)開催されました。始めに、北哲郎会長から、安全安心、事故0を目指した活動に重点を置いた、県柔道会基本方針についての説明がありました。その後、平成27年度事業報告・決算報告及び平成28年度事業計画・予算について協議され、全て承認されました。

## ☆柔道功労者等表彰

### ・地域振興指導者 3人

- 中窪 幸男(肝属地区)  
長年に亘り少年柔道の指導に係わり、青少年の健全育成に尽力した。

- 久保田 清正(熊毛地区)  
長年に亘り少年柔道の指導に係わり、青少年の健全育成に尽力した。
- 太利 憲吾(大島地区)  
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。

## 鹿児島県柔道フェスタ

1月30日(土)鹿児島アリーナ

1月30日(土)鹿児島アリーナ武道場において、鹿児島柔道フェスタが開催されました。始めに、北哲郎会長から、「本県は、2020年国体が目の前に迫っている状況のなかで、県柔道会として、柔道強化育成会の市丸会長以下十数名のご後援の元、単独の鹿児島県柔道フェスタを開催いたします。」と挨拶があり、続いて北菌専務理事から趣旨説明と当日招待された、本県出身で全国および世界大会等で活躍している濱田尚里選手(自衛隊体育学校)、豎山将選手(鹿屋体育大学)、森崎由理江選手(鑪設計事務所)の3選手と同じく全国および世界大会等で活躍した県内高校生の紹介がありました。

その後、招待選手のスピーチに続き、得意技の披露がありました。午後からは、小中高の強化指定選手を中心とした合同練習が行われました。

## 【柔道強化育成会会員】

- 市丸良友様 育成会会長 コスモライン(株)
- 市丸隆二郎様 市丸グループ社長
- 森山良市様 共和テック(株)代表取締役
- 石堂和雄様 石堂建設(有)代表取締役
- 早田敬二様 芋匠代表取締役
- 松尾悦郎様 (株)マツオ電設代表取締役
- 鹿児島県遊技業協同組合様
- 鹿児島市遊技業組合様
- 前原尉様 湯之元温泉病院, 県議会議員
- 西原一将様 西原商会代表取締役社長
- 六反田賢藏様 美創産業代表取締役
- 松方 一憲様 真方工業(有)代表取締役
- 北哲郎柔道会会長
- 柏木茂穂柔道会監事

**【高校生招待選手】**

鹿児島情報高校	青柳	麗美
国分中央高校	前野	彩
鹿児島南高校	幸田	奈々
鹿児島南高校	宮崎	繭
鹿児島情報高校	田中	秀伍
鹿児島商業高校	半渡	賢太

**【招待選手のスピーチ】(抜粋)****濱田尚里選手**

私は高校の時に日本一という目標を自分の中でたてて、目標に向かって頑張ってきました。高校3年生の時インターハイで2位になって、去年、全日本で優勝することができました。目標をたててその目標を達成できると自分を信じてやっつけば絶対に達成できると思うので皆さんも目標があると思うので、目標に向かって頑張ってください。

**豎山 将選手**

中学校に入って、中学校で日本一になりたいという目標を立てて練習に取り組み、結果的には全国3位という結果でした。でも悔しくて、それで鹿児島から日本一になりたいという気持ちが強かったので、鹿児島情報高等学校に入学しました。そこでも日本一になりたいという思いが強かったので、私生活をしっかり整えて、さらに練習プラスで自分で走ったりして高校三年生の時に全日本ジュニア選手権で優勝することができました。その時に世界選手権の切符をいただくことができ、世界ジュニア選手権で優勝することができました。鹿屋体育大学では6つぐらいの国際大会に出場させてもらって、ジュニアの大会ではほとんど優勝することができたんですけど、自分は日本人がすこし苦手でなかなか国内の大会では優勝することができませんでした。そして去年講道館杯で優勝することができてグランドスラム東京に出場しました。グランドスラム東京では準決勝で海老沼選手に破れて、3位決定戦でも高市選手に敗れて5位という結果だったんですけど、鹿児島でも日本一になれるということは証明できたとおもいます。今年の四月から海老沼選手が所属する「パーク24」という会社に就職します。夢であるオリンピックで優勝すること、そして、2020年の鹿児島国体で優勝することを目標にこれからも頑張っていきたいと思えます。

**森崎由理江選手**

私は、体が小さくて、周りからもよく小さいなといわれて、ほんとに悔しい時もありましたが、それでも小さくても柔道は強くなれるということ知って、みんなを見返そうという気持ちはありましたが、中学校では44kg級で結果も残せず、高校は宮崎日大高校で、1・2年の時はなかなか結果も出せませんでした。3年の時にインターハイで3位という結果を残すことができました。それから鹿屋体育大学で4年間、柔道生活を送って、3年と4年の時には全日本学生で3位という結果を残せて、少しずつ自分が強くなってきていると感じました。大学を卒業してそのまま大学院に進学して大学院1年目の時に講道館杯で初めて日本一になることができました。その時は本当にうれしかったです。大学院2年目の時は講道館杯3位で国際大会のグランドスラムという先ほど映像にもあった大会にも2回出場しました。皆さんに言えることは、強くなる、強くなりたいという気持ちがあれば、どこに行っても強くなれるということです。ここにいる選手に共通して言えることは、誰よりも強くなりたいという気持ちがあったから全日本でこういう素晴らしい結果を残せたのだと思っています。自分も鹿児島でも日本一にもなれるし、ほんとに世界一になるという気持ちがあればどこに行ってもなれると思ういます。皆さんもしっかり目標を持って毎日の稽古を頑張してほしいと思います。

**柔道フェスタ 柔道MINDスピーチ**

1月30日(土) 鹿児島アリーナ  
教育普及部長 田中 総一(抜粋)

柔道MIND活動は、昨年の4月から始めまして、本日までの間において、少年大会・中学校大会・高校大会など色々な大会を通じて、指導の先生方や優秀な成績を収めた選手や生徒達によって大変わかりやすく話してもらっています。

この活動は、柔道の創始者である嘉納治五郎先生の「教えの精神」や「柔道の心」に立ち返り、礼法・礼節をしっかりと行い、「品格のある柔道及び柔道を通じた人間の育成を目指していきましょう。」という思いが込められています。

「柔道MIND」の意味を理解して、柔道を行う人は「MIND」の4つのことを守っていくことが大切であり、全ての柔道を行う人が、礼法をしっかりと行い、品格のある行動と自発的善行(いわゆる「善い行いをする事」)を日々実践していくことにより、柔道の素晴らしさや魅力が周りの人達へ浸透し

ていくことが大いに期待されます。

少年柔道クラブで柔道を習っている子供達、中学生、高校生、また、保護者の方々、そして、指導の先生方など、柔道に携わる者の行動の積み上げが将来を築いていきます。子供や選手の「マインド」は大人や指導者の「マインド」そのものです。大人や指導者の日々の言動が、そのまま子供や選手の「マインド」になっていきます。柔道に携わる者として共に自戒の念をもって指導・育成に努めていきましょう。柔道を志す皆さん方を応援している人達は、大会で優勝をしても決しておごることなく、常にお世話になった人への感謝の気持ちを忘れず、家庭や学校及び地域社会において感謝・尊敬される人間になってほしいと願っています。是非、「柔道をやった良かったな。」と実感できるよう今後も努力・精進してください。

最後になりますが、指導の先生方には、子供達が柔道着を担いで「柔道をやった良かったな。」と思ってくれるように熱意と信念をもって指導をしていただきたいと思えます。さあ、皆さんと共に「柔道MIND」を盛り上げていきましょう。



### 「柔道指導者講習会」報告

平成28年度の柔道指導者講習会が、5月18日(水)・19日(木)の2日間、県総合体育センターとの共催で県総合体育センター武道館で開催されました。本年度は、講道館館長の上村春樹先生をお迎えして、県下各地からスポーツ少年団指導者をはじめ中学校・高等学校・大学の柔道部顧問や指導者、警察署・刑務所の柔道関係者、一般の柔道愛好家ら約170人の参加がありました。

1日目は、開講式に続き、上村先生の「指導者の役割」についての講話があり、午後からは、講義Ⅰとして田中総一七段(鹿児島県警)による、「国際柔道連盟試合審判規定・少年大会特別規定」についての講義がありま

した。続いて、中村勇六段(鹿屋体育大学)による、「安全指導」についての講義がありました。

2日目は、実技Ⅰとして山野修四段(伊敷中教諭)と西有生央五段(阿久根中教諭)の指導による「投の形」と福元雅一七段(鹿児島県警)と中藪雅博六段(鹿児島県警)による「固の形」の指導が、2つの班に分かれて行われました。

午後からは、講義Ⅲとして中尾小都枝五段(県柔道会理事)による、「柔道の指導法1」が、続いて、吉村智之五段(国分中央高教諭)による、「柔道の指導法2」がありました。最後に実技Ⅱ「審判法」「高段者試合」が、北藪季康七段(県柔道会専務理事)の指導のもと行われ、講習会の全ての日程を終了しました。



### 講道館青少年育成講習会

講道館青少年育成講習会が2月21日(日)に霧島市国分武道館で、講道館から講師として、松下三郎九段、向井幹博七段、下山陽彦五段を迎え、開催されました。これは日本の未来を担う青少年に対し、講道館柔道の真の理解と、柔道を通じた心身の健全な育成を目的に行う講習会で、全国各地区で行われています。今回は、向井先生、山下先生の実技指導と、松下先生の「術から道」のDVDを元にした講話が行われました。

### 松下三郎九段講話内容(抜粋)

私は、郷土鹿児島県の先輩として、また、皆さんの「お爺さん」として、皆さんのこれからの人生にとって参考になれば、と考えながらお話を致したいと思います。

最初は、嘉納治五郎師範が作られた「講道館柔道」の要点を述べたいと思います。まず、1882年、今から134年前、柔道は嘉納治五郎師範によって作られました。その後、柔道は、海を越えて世界の隅々まで拡がり、現在では約200の国が国際柔道連盟に加入



しております。もともと、柔道は、日本古来の武術である「柔術」から生まれました。「柔術」では、投げる、抑える、絞める、打つ、ける、などの技を用いて、相手を制する「武術」です。師範は、戦う方法であった、「柔術」を人間形成を目指す「柔道」へと発展させ、「道を学び講じる場所」として「講道館」と名付けて柔道を教え始めました。

師範は、柔道の理念として、「精力善用」、「自他共栄」の2つの掲げました。この理念には、「柔道の練習を通して、自分の身体と精神(心)の力を最も有効に働かせることを見につけて、自分を完成させ、その自分を使って、社会の発展に貢献してほしい」という願いがこもっていました。師範の主な業績は、

1893年

高等師範学校(筑波大学の前身)の校長に就任、多くの教育者を育成。

1909年

オリンピック創始者クーベルタンの依頼で、アジア初のオリンピック委員となる。

1911年

日本体育協会を創設し、初代の会長となる。など、その他いろいろな仕事を残されております。

次に、平素、郷土鹿児島県の柔道について感じていることに触れたいと思います。

鹿児島県の柔道会は、今日まで柔道による大きな事故は聞いたこともなく非常によく運営されていると存じます。それは、会長の北先生が日頃熱心に指導されている賜物の思います。北先生は、九州に止まらず、我が国柔道界の重鎮の一人でございます。今後とも健康には留意されて、本県柔道のために働いていただきたいと存じます。

鹿児島県の少年大会を何年か前に見学して、よい思い出が1つあります。それは、少年たちが試合前、全員で斉唱した言葉です。

立派な人間になります。礼儀を正しくします。弱い者をいじめません。ウソをつきません。自分に負けません。

これは、嘉納師範の教えと、薩摩藩の郷土教育の精神を取り入れた「薩摩柔道ルネサンス運動」の言葉で、2004年に作られています。私は深い感銘を受けました。特に、最近では、「尚武の国薩摩」を目指した競技力の向上と青少年の育成にも力を入れておられることを拝見して、大変心強く感じております。

今年にはリオオリンピックが行われます。ここで、全柔連男子監督の井上康生さんについてお話しします。井上監督はお隣の宮崎の出身で、中学・高校時代から得意技の内股が有

名で活躍していました。自然体から繰り出す内股の冴えは、素晴らしいものがありました。シドニーオリンピックでは、内股でオール1本勝ちで優勝しました。しかし、次のアテネオリンピックでは、優勝候補と目されながら、敗れてしまいました。その時、日本選手団のキャプテンを務めていた彼は、柔道では唯一人残って、ほかの競技の応援に行き、一生懸命声援を送っており、私は頭が下がる思いをしました。たまたま、本部役員として参加していた私は、井上選手と2人で応援に行き、彼に接する機会がありました。初めて彼の素晴らしい人間性に触れることができました。井上選手は、非常に謙虚であり、また、優しく、思いやりのある好青年でした。柔道選手は強い選手になっても彼のようにしてもらいたいものだと私は思います。リオオリンピックでは、井上さんが男子監督を務めます。みんなで応援しましょう。

### 道場めぐり 38

#### 「坊津学園柔道スポーツ少年団」について 代表指導者 鮫島 謙一郎

坊津学園柔道スポーツ少年団は、平成25年度に坊津地区の小中学校を統合し坊津学園小中一貫校となった為、長年親しまれてきた「清原柔道スポーツ少年団」の名称を変更し「坊津学園柔道スポーツ少年団」となりました。清原柔道として昭和42年に発足し、今年度でスポーツ少年団50年目を迎える事ができました。

坊津学園は小学生92名中学生49名計141名の学校であり、団員確保に苦慮しておりますが、長年柔道を支え応援して下さる地域の方々のおかげで12名の団員が確保でき、週3回2時間の練習に励んでいます。私が中学生の指導者も兼任している事から、練習は中学生7名と一緒に学校施設内の道場で練習しています。練習も団員が飽きないように、グループに分け中学生が小学生を指導する時間をつくり、立技や寝技など、どのグル



ープが全員しっかり技ができるようになるかなどゲーム感覚の練習など取り入れています。中学生は復習となり、小学生は新しい技を覚え楽しそうに練習している風景を見ると指導者としても心とむ時間でもあります。また過去にこ

の坊津の地から先輩達が全国大会3位入賞や九州大会優勝などの成績を残している。「頑張れば、自分達もできる」と高い目標を持ち、一生懸命頑張る姿も見受けられます。県内の道場や南薩地区のスポーツ少年団との「頑張れば、自分達もできる」と高い目標を持ち、一生懸命頑張る姿も見受けられます。県内の道場や南薩地区のスポーツ少年団との合同練習等に参加させてもらえ、少ない団員での日頃の練習を補え、たくさんの仲間と練習できる事に対し感謝しています。

子供達には、やる気を持ち続ける事の大切さ、当たり前前の事が自然にできる大切さなどを理解してもらい、優しい人間・人の痛みがわかる人間に育ってもらえるように指導していきたいと考えています。

指導者として23年目を向かえましたが、今後も色々な事を学びご指導頂きながら、団員や保護者と一体となり、これからは鹿児島県柔道の発展の為、頑張っていきたいと思えます。

### 各種大会の成績(2月~5月)

#### 第26回鹿児島県柔道選手権大会

#### 第18回鹿児島県女子柔道選手権大会

2月6日(土)鹿児島アリーナ武道場

#### 【優勝者】

☆男子 内 健治郎(県警機動隊) 四連覇  
 ☆女子 栗原 佑佳(鹿屋体育大) 初優勝

#### 【男子成績】

1位 内 健治郎(県警察)  
 2位 関根 太三(鹿屋体育大)  
 3位 山田 泰裕(県警察)  
 3位 盛田 勝義(鹿屋体育大)  
 5位 半渡 賢太(高体連)

#### 【女子成績】

1位 栗原 佑佳(鹿屋体育大)  
 2位 牧田 朱加(鹿屋体育大)  
 3位 青柳 麗美(高体連)

3月の九州柔道選手権大会及び九州女子柔道選手権大会には、男子3位、女子2位までが出場しました。

### 県柔道選手権大会

#### 柔道MINDスピーチ

国分中央高等学校教諭 吉村 智之

(抜粋)

柔道競技は、現在世界の柔道として普及・発展し、世界各国で盛んに行われています。嘉納先生の提唱された講道館柔道は教育的な要素を多く含んでいたからこそここまで広がったのではないのでしょうか?鹿児島県柔道会でも、薩摩柔道ルネッサンスを少年大会では試合前に唱和し、青少年の健全育成に努めています。このような取り組みが今後も多くの場所で行われていければと思います。

スポーツは「する・見る・支える」という3つの側面から成り立っていると言われます。まさに今日この試合場で熱戦を繰り広げられる選手の方々は、「する側」であり、たくさんの応援してくださる方々は「見る側」であり、大会準備から本目の試合を進めてくださる審判・役員の方々は「支える側」であると思います。この3者が揃ってこそ、大会が盛り上がるものであり、スポーツによって感動が生まれる瞬間を作り出す要素でもあると考えられます。

今日もたくさんの観客の方々が来られています。是非選手の方々の本気の取り組みを見せていただき、見ている方を魅了するような感動的な場面が多くみられるような試合が展開されることを楽しみに応援させていただきたいと思います。

この会場にも、本日紅白試合をする小・中学生やその他多くの御来場者がいらっしゃいます。この会場にいるみんなで力を合わせて柔道の魅力を幅広く発信していきましょう。その為には今できることをその場その場でやっていくことが大切だと思います。会場内での気持ちの良い挨拶。トイレのスリッパを並べること。席を譲り合って応援すること。会場の施設用具を大事に使うこと等等、私たちにできることは沢山あります。是非みなさんで実践し、誰もが楽しめる素晴らしい柔道会場にしましょう。

ここで、数年前に鹿児島市内の小・中学校2年生が書いた作文を紹介いたします。『南高校の柔道のお姉ちゃんインターハイで優勝した。お父さんが教えてくれました。「あのお姉ちゃんが優勝したぞ!」僕は、あの時のお姉ちゃんだと気付きました。一緒に柔道をしたことがあったからです。その時もいっぱい汗をかいて真剣に柔道の練習をやっていたお姉ちゃんです。どの試合も全部一本勝ちですごくかっこいいと思います。お姉ちゃんは5歳の時から柔道続けているから強くなった

のかな～と思いました？ますますパワーアップして日本でも世界でもチャンピオンになってほしいです。これからも応援します。今の僕はサッカーが一番好きですが、いつかはお姉ちゃんみたいに柔道にも挑戦してみたいです。お姉ちゃんすごい。優勝おめでとう！』このように、柔道には、人を感動させたり、成長させたり、共に喜び、影響を与えあうことができる等、素晴らしいことが沢山あります。子供たちに夢を与えることのできる柔道、「柔道を学び、柔道で学ぶ」そんな自分を成長させてくれる柔道の魅力を皆さんで鹿児島から日本へ、そして世界へ発信していきましょう。

**第58回九州柔道選手権大会**

3月6日(日) 福岡武道館

**【出場者】**

- 内 健治郎 (県警察) (準々決勝)
- 関根 太三 (鹿屋体育大) (5位)
- ※全日本選手権出場
- 山田 泰裕 (県警察) (1回戦)
- 盛田 勝義 (鹿屋体育大) (3回戦)

**第26回九州女子柔道選手権大会**

3月6日(日) 福岡武道館

**【出場者】**

- 栗原 佑佳 (鹿屋体育大) (3位)
- 牧田 朱加 (鹿屋体育大) (4位)

**平成28年全日本柔道選手権大会**

4月29日(金) 日本武道館

**【出場者】**

- 関根 太三 (鹿屋体育大) (一回戦)

**第40回県下中学校新人柔道大会**

2月14日(日) 鹿児島アリーナ武道場

**◎男子団体戦**

- 1位 吉野中学校
- 2位 末吉中学校
- 3位 志布志中学校
- 3位 舞鶴中学校

**○男子個人戦**

- 1位 岩坪 龍輝 (吉野中学校)
- 2位 山元 隆一 (川内北中学校)

**○女子個人戦**

- ・40kg級
- 1位 垣内 望歌 (谷山中学校)
- 2位 城戸 鼓夢 (谷山中学校)

- ・44kg級
- 1位 鳥越 璃子 (川辺中学校)
- 2位 向吉 湖菜 (東谷山中学校)
- ・48kg級
- 1位 中馬 梨歩 (吉野中学校)
- 2位 竹之内双葉 (加世田中学校)
- ・52kg級
- 1位 宮原 友紀 (重富中学校)
- 2位 藤川可蓮 (中種子中学校)
- ・57kg級
- 1位 三崎 茉莉 (吉野中学校)
- 2位 上野祥歩 (阿久根中学校)
- ・63kg級
- 1位 天川きらり (末吉中学校)
- 2位 永山 麗奈 (東市来中学校)
- ・70kg級
- 1位 宮田 礼菜 (末吉中学校)
- 2位 清水 風音 (坊津学園中学校)
- ・70kg超級
- 1位 芝原 和花 (川辺中学校)
- 2位 田中しのぶ (金久中学校)

**第40回県下中学校新人柔道大会**

**柔道MINDスピーチ**

**谷山中学校2年 松寄 このは**

「柔道から学んだこと」  
私が柔道を始めたのは5歳の頃でした。姉と兄が柔道をしている姿を見て「かっこいいな。私もやってみよう。」と思い習い始めました。小学校低学年の頃は同世代の子より、体格も大きく力もあり、優勝や入賞していました。しかし、高学年になると体が大きいだけでは勝てなくなりました。試合で負ける度に「もう、柔道なんかしたくない。」と思い、逃げたくなる時もありました。両親からも、「辞めてもいいんじゃない。」と何度も言われ、教えてもらった技が上手にできず、悔しくて涙を流しながら練習することもありました。でも、負けず嫌いな私は、「もっと強くなりたい。強くなって、表彰台に立ちたい！」と思うようになり、中学校でも柔道を続けていくことに決めました。

中学生になり、柔道部へはいると、毎日の練習や強い先輩たちとの練習できつくなり、何もかもが中途半端になっていました。でも、「このままじゃいけない。まず、自分に勝たないと相手に勝てるわけがない。」と思い、今できることをしっかりと行い、規則正しい生活を送るように心がけ、努力をしました。そうすることで、少しずつ充実した毎日が送れるようになりました。

現在私は女子部キャプテンとしてチームを引っ張っています。キャプテンになってから

は自分の行動に責任を持つようになりまし  
た。練習では「先輩」,「後輩」関係なく厳  
しくして、練習が終わってからは「仲良く」  
のONとOFFのけじめをつけるよう心がけ  
ています。

私は、勝ち負けだけが柔道ではないと思  
います。どんなに強い選手でも人間としての魅  
力がなければ、周りの人たちも心からの応援  
や拍手をしてくれないと思います。試合場  
でも礼を適当にしたり、たたみの上でガッツポ  
ーズをしたりしている人は、人として誰から  
も尊敬されませんし、柔道精神に反してい  
ると思います。相手がいてこそ柔道の練習も  
できるし、お互い頑張っている仲間だと思  
うので、相手を敬うことができる人が真の柔道選  
手です。このことを忘れず、心身共に鍛錬し  
ていきたいと思っています。

そして、今までお世話になった方々に柔道  
を通して、たくさんのお返しをしていき  
たいと思います。小学校の頃、夜遅くまで私の為  
に練習につきあっていただいた少年団の先生  
方。中学校で柔道だけでなく柔道に対する心  
構え、人として成長していくことなどを教  
えてくださった先生。試合の時、朝早くから  
お弁当を作りくるまで送迎してくれる両親。  
試合で活躍している姿を見せてくれ、時には  
優しく技を教えてくれる兄。毎日の練習を  
ともに頑張り、汗を流している仲間。そし  
て周りで応援してくれる方々。私はたく  
さんの人に支えられて今日まで柔道を  
がんばってこられました。

これからは柔道の結果だけにこだわら  
ず、悔いの残らぬように何事にも全力で  
一歩ずつ前に進んでいこうと思  
います。そして、人として  
も大きく成長できるよう、柔道精神、「マ  
インド」を忘れず、薩摩柔道ルネッサ  
ンスを毎日実行していけるよう、過  
ごしていきたいと思  
います。

### 第33回県下少年新人柔道大会

- 2月20日(土) 鹿児島アリーナ武道場  
1位 忠氣道場(日置) ※初優勝  
2位 修道館(鹿児島)  
3位 末吉(曾於)  
3位 里(薩摩川内)

### 第38回全国高等学校柔道選手権大会

3月19日(土)・20日(日) 日本武道館

#### 【男子個人戦】

- 60kg級  
5位 加藤 輝(明桜館高校)

- 81kg級  
5位 青柳 大虎(鹿児島情報高校)

### 第35回全国少年柔道大会

5月4日(月)・5日(火) 講道館。  
忠氣道場 予選リーグ 1勝1敗

### 県高等学校柔道競技大会

5月25日(水)・26日(木)  
鹿児島アリーナ・メインアリーナ

#### 【男子団体戦】

- 1位 鹿児島情報高等学校  
2位 鹿児島商業高等学校  
3位 鹿児島実業高等学校  
4位 明桜館高等学校

#### 【男子個人戦】

- ・60kg級  
1位 加藤 輝(明桜館高校)  
2位 富森 海斗(鹿児島情報高校)
- ・66kg級  
1位 宮田寅之介(鹿児島商業高校)  
2位 日笠山海渡(鹿児島工業高校)
- ・73kg級  
1位 幸田 州世(明桜館高校)  
2位 田中 秀伍(鹿児島情報高校)
- ・81kg級  
1位 青柳 大虎(鹿児島情報高校)  
2位 福崎 廉(鹿児島実業高校)
- ・90kg級  
1位 松本 司(鹿児島情報高校)  
2位 野間 雄貴(鹿児島商業高校)
- ・100kg級  
1位 大脇 充倫(鹿児島実業高校)  
2位 久保 優哉(鹿児島情報高校)
- ・100kg超級  
1位 上林山勇斗(明桜館高校)  
2位 中山 永遠(明桜館高校)

#### 【女子団体戦】

- 1位 鹿児島情報高等学校  
2位 鹿児島南高等学校  
3位 国分中央高等学校  
4位 鳳凰高等学校

#### 【女子個人戦】

- ・48kg級  
1位 藤田 真由(国分中央高校)  
2位 小川 真未(鹿児島南高校)
- ・52kg級  
1位 森 瑞穂(鹿児島南高校)  
2位 瀧川 琳花(鹿児島情報高校)

- ・ 57kg級  
1位 長谷川 楓 (鹿児島情報高校)  
2位 吉時 春菜 (鹿児島南高校)
- ・ 63kg級  
1位 邊木園瑞稀 (鹿児島南高校)  
2位 嶋田沙緒里 (国分中央高校)
- ・ 70kg級  
1位 野間 陽 (鹿児島情報高校)  
2位 大野愛友実 (鹿児島情報高校)
- ・ 78kg級  
1位 豊永 華純 (国分中央高校)  
2位 西橋 倫加 (鹿児島南高校)
- ・ 78kg超級  
1位 古市 真愛 (鹿児島情報高校)  
2位 宇都 知里 (鳳凰高校)

**主な行事予定 (6月～9月)**

- 6月 4日(土) 県下中学校大会
- 6月 5日(日) 国体選手選考会
- 6月12日(日) 県ジュニア体重別選手権大会
- 6月25日(日) 県下小学生学年別大会  
九州Bライセンス試験  
全国教員大会選手選考会
- 7月16日(土) B指導員養成講習会  
～18日(月)
- 7月25日(月) 県中学校総体柔道競技  
～26日(火)

- 7月28日(木) 暑中げいこ  
～29日(金)
- 8月 7日(日) 県スポーツ少年団交歓会
- 8月21日(日) 県少年錬成大会
- 8月22日(月) 本部夏期講習会  
～27日(土)
- 8月28日(日) 夏季昇段試験
- 9月18日(日) 第70回県民体育大会柔道競技(霧島市国分武道館)

**全柔連登録手続きについて**

登録の更新は、済みましたか？  
登録の納入方法については、各地  
区事務局に確認をしてください。

**【編集後記】**

この「柔道会だより」は、年3回の発行になっております。今年度から、3回目の発行をこれまでの2月発行から、3月中旬の発行に変更します。これは、年度末の分を年度内にお知らせすることを目的としています。ご理解とご協力をお願いします。(文責：田島)



**燃ゆる感動 かごしま国体**

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から **2020**